



希望橋

教育目標 豊かな心をもち たくましく伸びる生徒

電話 0256-86-3007

最先端のテクノロジーに触れる！

AI活用特別授業を開催

2月3日(火)、本校2年生を対象に、5・6時間目を使って「AI(人工知能)」をテーマにした特別授業を開催しました。この日は、各分野のスペシャリストが集結する非常に豪華な一日となりました。

株式会社クラフティの○○様をはじめとする社員の皆様、そして新潟コンピュータ専門学校の先生と学生の皆さんです。企業の第一線で活躍するプロフェッショナルの視点から、AIの現状や未来について分かりやすく解説していただきました。さらに、進行役にはアルビレックスチアリーダーズから2名のメンバーが華やかに登場し、スタートから会場は期待感に包まれました。

メイン活動のワークショップでは、AIを駆使したクリエイティブな楽曲制作に挑戦。まず「ChatGPT」を使って自分たちの想いやキーワードを紡ぎ、オリジナルの歌詞を生成しました。続いて、音楽生成AI

「Suno」に入力し、メロディやリズムを構築していきます。初めて触れる最新技術に、最初は「どう操作すればいいの？」と戸惑う姿も見られましたが、専門学校の学生さんたちが各グループを回り、丁寧にサポートしてくださったおかげで、生徒たちは次第にコツを掴んでいきました。

試行錯誤を繰り返し、自分たちが入力した言葉が「本物の歌」としてイヤホンから流れてくると、ランチルームのあちこちから歓声が上がりました。生徒たちからは、「操作は難しかったけれど、新しい情報がどんどん入ってきて本当に刺激的だった」「自分のアイデアがAIによって形になるワクワク感がすごかった」といった、前向きな感想が多く寄せられました。

授業のラストを飾ったのは、アルビレックスチアリーダーズによる圧巻のダンスパフォーマンスです。目の前で繰り広げられるプロのキレのある動きに、生徒たちは釘付けとなりました。「最新のデジタル技術」と「人間の熱い身体表現」が融合した、まさに贅沢で実り多い時間となりました。

お忙しい中、未来を担う中学生のために貴重な学びの場を提供してくださった講師の皆様、並びに学生の皆様、本当にありがとうございました。今回の体験をきっかけに、生徒たちが未来のテクノロジーを自分の道具として使いこなし、新しい夢を抱いてくれることを願っています。



目標に向かってラストスパート！

「後期期末テスト基礎学習会」開催

1月29日（木）から2月2日（月）までの放課後、3日間にわたって「後期期末テスト基礎学習会」が行われました。

今回の学習会には、3日間で延べ80名という非常に多くの生徒が参加しました。諸活動停止期間ということもあり、放課後の時間を有効に活用しようという意欲が感じられました。

対象科目は、積み重ねが大切な数学と英語の2教科。会場となった教室では、ワークの問題を繰り返し解き直す生徒や、教科書の重要語句を確認する生徒など、一人一人が自分の課題に向き合い、静まり返った空気の中で集中して学習に励む姿が見られました。分からぬ箇所を友人と教え合ったり、先生に質問して理解を深めたりと、学年全体の「テストに向けて頑張ろう」という一体感が伝わってくる時間となりました。



今年度最後となる定期テスト。学習会で培った自信を胸に、全校生徒が納得のいく結果を出せるよう期待しています。

公衆電話の撤去と今後の対応について（お知らせ）

日頃より本校の教育活動にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。さて、このたびNTTによる公衆電話の利用状況の見直し等に伴い、本校に設置されております公衆電話機が、令和8年3月末日をもって撤去されることとなりました。

携帯電話の普及により、近年は利用者が大幅に減少している状況ではありますが、放課後の連絡手段としてこれまで多くの生徒が活用してまいりました。

撤去後の連絡対応について

公衆電話の撤去に伴い、生徒が家庭への緊急連絡が必要になった場合の対応を以下の通りといたします。

職員室の電話を貸し出します 急な体調不良、天候の急変、活動の予定変更など、やむを得ない事情で連絡が必要な場合は、職員室の電話を使用することができます。

通話料について 緊急時の対応であることから、通話料等の徴収はいたしません。

ご家庭へのお願い

学校といたしましては、今後も子どもたちの安全な下校と連絡手段の確保に努めてまいります。保護者の皆様におかれましても、以下の点についてお子様と改めてご確認いただければ幸いです。

- 事前の打ち合わせ：** 登校前に、下校時刻や待ち合わせ場所などの確認をお願いします。
- 忘れ物の防止：** 忘れ物による連絡を減らすよう、前日の準備の習慣づけをお願いします。

災害時等の緊急連絡体制については、引き続き「安心安全メール」等を活用し、万全を期してまいります。何卒、ご理解とご協力をお願い申し上げます。